



日高ロータリークラブ WEEKLY

2022-2023 R.1テーマ
イマジン ローター

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	鈴木敏藏	幹事	長谷川 悟	会報委員長 犬竹 一 浩

第1820回例会 2022年9月27日(火)

2022年10月25日発行 第1639号

本日のお客様

方 婷婷様(米山奨学生 日高 RC)
齋藤由貴様(株ぴあのっち 代表取締役)

会長の時間 鈴木敏藏会長

本日は『会長の心得について』、私見ですがお話しさせて頂きます。

～派閥が無く風通しの良いクラブづくり～

ロータリークラブ内の派閥とは、知らず知らずのうちに周りから、そのように見られてしまうグループが出来てしまう事を言うのだと思います。例会や各行事に、とにかく参加していただき、互いに意見を言い合えるクラブづくり、そして会員同士が分け隔てなく接し合えるクラブづくりが大切だと考えています。

～老・壮・青の年齢バランスも重要であり、クラブの中・長期計画にも載せる～

ロータリークラブは老・壮・青と様々な年齢層から成り立っています。世代が違えば、考え方や価値観の違いはあって当然です。変えなくてはならない事や変えてはいけない事もあります。大切なのは、それらのバランスをとりながら、クラブ事情に合ったクラブ運営を進めていくことだと考えます。

～会長は謙虚さを持ちクラブ運営に於いて誰からも意見やアイデアを聴き改善～

私は会長として、常に家族あつての職場であり、職場あつてのロータリーであると話しています。しかし会員の参加なくして健全なクラブ運営が望めないのも事実です。この先も私は皆さんに無理は望みません。会員同士の思いやりに期待します。

～常に会員の適切な役職と各種会合で会員の出番を作るよう配慮～

昔から、「ロータリーにNOはない!」とか、「ロータリーに傍観者はなし」などと言われてきました。会長・幹事・副会長・SAA・各委員長などの要職を要請する場合は、お願いする会員の出席率を鑑みてしまうのも事実です。諸々の活動の中でロータリークラブ参加の優先順位を1・2ポイント上げる工夫していただきたいと考えています。また、会員の出番を作ることについては、各委員会では座談会を開き活発な意見交換の場を増やしたり、会員卓話を極力増やしたり、クラブ協議会の時などには分け隔てなく意見を求めたりと、全員参加型を目指したいと考えています。



幹事報告 長谷川 悟幹事

地区事務所より

- ・会員増強・IT推進委員会からのアンケート調査のお願い
締切 10月7日(金)まで
- ＊クラブで回収後に10月14日までに地区事務所に返送。
- ・ポリオ根絶S Lジャックプロジェクト案内(再案内)
10月16日(日)熊谷駅 10:10 出発 ～ 秩父駅 12:07 到着

『未来を担う子ども達の手助けに…』

～自己紹介～

神奈川県横須賀市生まれです。6歳よりピアノを始め、国立音楽大学音楽文化デザイン学科音楽療法専攻を2008年に卒業。以後、アルバイトをしながら演奏活動ピアノ講師業をはじめました。週7日、ほぼ毎日子どもたちとレッスンをする中で、「どうしたらもっと子どもたちが輝くようになるのか?」と考え始め、自身の幼少期の経験からも、子どもたちにとってピアノが人生を楽しむためのツールとして、子どもたちの友達のような存在になってほしいと願うようになりました。そして、『ピアノや音楽を通じて子どもたちに人生を楽しむコツを学んでもらう場』として出張ピアノ教室(株)ぴあのっちを2014年に設立致しました。2021年現在、オンライン&出張ピアノ教室として、北海道・九州・関東を中心に、事業を展開させて頂いております。自宅が子どもたちにとって“遊び座・学び場・育つ家”であると考え、楽しんで没頭できる環境づくりも一緒に行っている所であります。



～ぴあのっちのビジョン～

大切にしているのは、子ども達の「楽しい!」という根を育てること。そして、子ども達の「感じ、受け止め、表現する」という総合的な感性を育てることです。音楽に限らず、絵を描くことや何かを創ること、また人に伝えたいことを言葉にしてコミュニケーションをとることも、表現にはすべてその人の感性が深く関係しています。そして、双方向の良好なコミュニケーションをとるためには、実は自分が何を考え、どんなことを感じたのか、何を思っているか、他人ではなく自分でわかっていること＝自立力が非常に大切です。自分がどう思うかがわかって初めて、人の気持ちに気づくことができるのです。だからこそ、子どもの頃から感じる力や自分で気づき考える力を養うことはとても大切だと考えています。ピアノを通して、「感じ、受け止め、表現する」感性を育て子供たちが元気に生きていく一助になればと願っています。

～ぴあのっちから『まなびっち』へ～

ピアノの先生という職業は、子どもが成長する時期に長く寄り添う事の出来る尊い仕事だとおもっています。毎週のレッスンは10年以上続くこともあり、親戚のおばさんよりも、子どもたちに寄り添っている時間が長いことに、自分でもびっくりしてしまいます。小学生が中高生、大学生、社会人になっているところを見守っているうちに、将来の夢やどういふことをやっていきたいかを聴く機会がありますが、答えられる中高生はほとんど居ません。そのときやりたいことを一生懸命考えているとしても、大学を決め、就職を決めたのに、本当にこれで良かったの?と悩んで職場離脱してしまう悲しい現実を見てきました。私は、ピアノ講師および会社の経営者としての自分が天職だと思っています。天職を見つけられると幸せなのは当たり前と感じられるとしても、現実的には「天職」が何かを見つけることができず、社会に疲れて復帰できない子が増えているのではないのでしょうか。私も子どもを育てる親として、インターネットを通じて多くの情報を得る才能に長けたZ世代の子どもたちに、中高生のうちから、こんなにいろんな職業があって、自分も人もハッピーにできる「天職」があることを知って欲しいのです。それを知ること、そこにいたるまでの過程として、どんな学校に行くか、またはバックパッカーになって社会勉強をしてくるかなど、人生の選択肢を増やして感動の幅を広げ、自分の人生を自分ゴトにしてもらえるお手伝いをしたいと考えています。そういった願いが『まなびっち』へと繋がりました。将来どんな大人になりたいか、世の中にはどんな仕事があるのか、やりたいことをするためにはどんな職業に就けばいいのか、そのために今これから何をすべきなのか…そんな悩みや疑問を解決する手助けをしたいと奮闘しております。中学生・高校生のうちから『社会で生きる』学びを、まなびっちで広げる未来へ繋げたいです!

出席報告	9月27日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	9/6 修正率
	夜間	19	8	2	11	37.5%	82.35%

※出席報告は例会中には致しません

ニコニコボックス報告 8名 合計金額 9,000円 累計金額 124,000円